

令和元年 6 月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	17	議席 番号	17	氏名	稲 葉 晃 司 議員	1 / 2
発言項目				要 旨		答弁者
1		富士宮市の普通救命講習と消防団の課題		<p>(1) これまでAED講習が導入された普通救命講習は、平成17年6月から平成30年まで11,860人の方が受講されている。平成28年からは応急手当指導員講習が始まり、年平均20人の消防団の方たちが受講され地域の防災訓練等で活躍されている。また、平成28年度から小学生の高学年を対象にした入門コースが実施され、これまでに620人の児童が受講している。これらも踏まえ以下の点について伺う。</p> <p>① これまでに普通救命講習や地域の防災訓練等でよく聞かれる質問として、大人と小児と乳児の見分け方に関するものが多い。消防本部が管理する心肺蘇生訓練用人形は成人用10体、小児用6体、乳児用6体とあるが、消防署以外での普通救命講習や地域の防災訓練で貸し出す際には成人用1体、小児用1体、乳児用1体を1セットで貸し出していくほうが受講者や訓練に参加した方たちの理解度も上げられるように思う。効果のある講習や訓練を行う上での小児用・乳児用の心肺蘇生訓練用人形の増設をどのように考えるのか。</p> <p>② 健康増進課での取り組みとして「もうすぐパパママ学級」があるが、乳児向けの心肺蘇生等の講習などは行われているのか。</p> <p>③ 指導員講習に参加した方の意見として未就学児を持つ保護者を対象にした普通救命講習会等の実施の検討はされているのか。</p> <p>(2) 指導員講習について以下の点について伺う。</p> <p>① 指導員講習に参加される方は普及員の講習を受講した消防団がほとんどであるが、応急手当指導員の認定証を持つ消防団員が退団された後の対応は何か考えているのか。そのまま退団してさようならでは非常に勿体ないと思うが当局の見解はいかがか。あわせて、以前にも提案させていただいたが一般市民向けの応急手当指導員講習の実現の可能性はいかがか。</p> <p>(3) 令和元年6月7日、西小学校では防災を学ぶ取り組みとして、地元消防団と一緒に防災について学ぶ機会があり、当日は6年生の児童が普通救命講習の入門コースを受講された。そこに見学に来ていた地元の区長さんが、次回の防災訓練はAEDの講習を検討したいとのことであった。今回入門コースを受講された児童は予定されている防災訓練でも学んだ知識を生かして活躍されるだろうし、また、地元の消防団と一緒に学ぶことで、消防団に興味を持ち、消防団員の充足率が満たされていない現状に効果が期待できることも考えられる。何より、人命救助の大変さを学ぶことで、いじめにより命を失うことがいかに愚かなことかを考えてもらうことができれば、いじめの抑止にもつながると思う。そのような効果が期待できることから今後の市内小学校における入門コースの取り組みをどのように展開されていくのか伺う。</p>		市 長 副 市 長 病 院 長 関 係 部 長

発言 順序	議席 番号	氏名	稲葉晃司 議員	2/2
発言項目		要 旨		答弁者
		(4) 富士宮市消防団の各分団に配備されている消防車両には平成19年6月2日以降の普通自動車免許及び平成29年3月12日以降の準中型自動車免許でも運転可能な車両に更新していくことが計画されていることと思うが、準中型自動車免許取得に関して県の動向はどうか。また、県内各市町において10の自治体が準中型免許の取得に対する補助を行うようであるが、富士宮市の対応はいかがか。また、市内に配備されている消防団の水槽付消防車両は5台であるが、第4方面隊第19分団の水槽付消防車のように準中型免許でも運転可能な車体にするなどの工夫で、第6方面隊(旧芝川町)にも水槽付消防車両の導入の検討は可能か。		
2	今回の統一地方選挙における投票率を考える	(1) 今回の統一地方選挙における投票率について、以下の点について伺う。 ① 市議会議員選挙における最低の投票率について率直な感想を伺う。 ② 選挙にかかる広報面のコストで特に選挙期間中における広報車の効果に疑問を感じるが当局の見解について伺う。 ③ 小学校6年生は修学旅行で国会議事堂に行き、中学3年生では公民を学ぶが実際に富士宮市の児童・生徒は富士宮市議会を学ぶ機会があるのか。教育現場での具体的な取り組みはいかがか。		市長 副市長 教育長 関係部長
3	高齢者の交通事故が全国的に頻繁に発生していることから富士宮市のできることは	(1) 富士宮市ができるソフト面ハード面の対応は何か。 (2) 幼稚園児・保育園児のお散歩コースや通学路の危険箇所対策や、児童生徒に対する対応は。 (3) すぐにできる対策として、地域における見守りの数を増やしていくことが必要と考えるがいかがか。		市長 副市長 教育長 関係部長
4	富士宮市の聖地の創出をどのように考えるか	(1) ももいろクローバーZが全国の自治体に開催地の募集をしている音楽公演「ももクロ春の一大事」は、2017年は埼玉県富士見市、2018年は滋賀県東近江市、2019年は富山県黒部市で開催され、黒部市では2日間で30,982人のファンで盛り上がったとのこと。2020年4月18・19日に開催される「ももクロ春の一大事」に富士宮市も手を挙げたと聞いている。また、2015年に公開された映画「幕が上がる」では富士宮西高等学校、富士宮北高等学校がロケーション撮影地になったことから期待したいところである。以上のことから、いわゆる聖地巡礼を促すための富士宮市における聖地の創出をどのように考えているのかについて伺う。		市長 副市長 教育長 関係部長